



魚津市イメージキャラクター

ミラたん

魚津市プレスリリース 平成 28 年 1 月 31 日

“ものづくり青年技能者の全国大会等出場” に対する 激励会を開催します

ものづくりに関わる全国大会に出場する北陸職業能力開発大学の学生 2 名に対し、激励会を行います。市長が激励金を直接手渡したのち、出場者から大会概要や意気込み等をお話いただきます。

1 開催日時
平成 29 年 2 月 10 日 (金) 午前 10 時～
(30 分程度)

2 会場
魚津市役所 2 階 市長公室

3 出席予定者数
13 名 (能開大：大会出場学生 2 名、担当教官、校長、副校長、能力開発統括部長 ほか)
(市役所：市長、副市長 ほか)



全国大会に出場する大森さん、小林さん
(予選：北陸大会での様子)

4 激励金について
魚津市において、ものづくりに関わる全国大会等に出場する市民・団体に激励金を交付するため、平成 22 年度に「ものづくり青年技能者の全国大会等出場に対する激励金支給要綱」を定め、同年度から激励金の交付を開始しました。

平成 23 年度からは㈱シキノハイテック様からの寄附金を原資として創設した「青年技能者育成支援基金」を活用して激励金を交付しています。

区 分		激励金の額
国際大会	国外で開催されるもの	1 人につき 50,000 円
	国内で開催されるもの	1 人につき 10,000 円
全国大会		1 人につき 8,000 円 (高校生は 1 人につき 6,000 円)

※ 1 大会について複数の者が出場する場合は、8 万円を限度とする。

5 大会名、出場者、激励金額等について
裏面のとおり

大会名、出場者、激励金額等について

- ・ 出場者 北陸職業能力開発大学校
大森 朝生(あさき) さん (応用課程1年生、21歳、高岡市出身)
小林 恒太郎 さん (応用課程1年生、20歳、射水市出身)

出場大会 「Challenge IoT Award2016 ビジネスモデル発見&発表会」
3月13日(月)～3月14日(火) 於 東京国際フォーラム

IT・ICT利活用で地域や世の中を進化・課題解決できる「産業・技術・商品・サービス」の「アイデア・ビジネスプラン・ビジネスモデル」について提案し、その新規性、実現性、需要性、目的性、継続性、地域貢献性、プレゼン力などが総合的に評価される大会です。

大森さん、小林さんは、11月16日に金沢市で開催された北陸大会において、
・「キャンパス賞」(キャンパス部門の中で総合的にすぐれた作品)
・「キャンパス特別賞」(キャンパス部門の中でアイデアとプレゼン力が高かった作品。
副賞として全国発表会出場権)
のダブル受賞を経て、全国大会への出場が決定しました。

受賞したビジネスモデル「障害者自立支援のための車椅子用安全サポート機器」は、車椅子利用者や障害者施設で働く方々の、日常不便に感じている声に着目し、学んでいる技術をいかしてIoT技術の観点からその解決方法を考え、実際の試作から商品化までのプランを作成したものです。最初の試作は、「足元や後方が確認できない」といった要望に基づくものですが、この試作を元に、タブレット端末をベースとした、様々な機能の拡張を可能とするビジネスモデルを提案しました。
このビジネスモデルで、3月の全国大会において、入賞を目指します。

激励金額 8,000円×2名=16,000円